

毎日新聞社主催 私学公開座談会 第24回

<多様・未知> とつながるチカラを育てる私学の教育が開催されました

9月3日(日) 日本大学経済学部にて、毎日新聞社主催・日能研協賛「公開座談会」が開催されました。

2010年からスタートしているこのイベント(2011年は実施せず)。「私学にこそある価値は何か」を根幹に置き、毎年その時どきに適したテーマで開催しています。今年度は「<多様・未知> とつながるチカラを育てる私学の教育」がテーマです。

通算24回目の開催となった今回、ご登壇の学校・先生は、

渋谷教育学園幕張・渋谷教育学園渋谷 校長 田村哲夫先生、女子学院 院長 鶴崎創先生 でした。

第1部は講演会形式で、各校の教育理念について、それぞれの先生方が「多様・未知なる未来を切り開くべく、これから、どんな人になってほしいか」という人間教育への想いをこめて、熱く語られました。

また、第2部ではパネルディスカッション形式で「これからますます多様な人々が協働する世の中で、必要なチカラとは」「大学入試改革の影響は」…など、さまざまな切り口から話題が広がっていきました。

「自分の中に判断基準を持つことができる」「自分の人生は、自分でつくっていく」

—お二人の先生が、それぞれの教育の特徴を明確に語られた中でも共通していたのは、中学・高校という多感な時期に、自分について本気で考え、自分自身を育てていくことの大切さ。その姿勢が、多様な人々と協働しながら未来をつくっていくうえでのリーダーシップにもつながる。そして、自分自身をさらに豊かに育てられる環境が整っているのが、常に「世界」「未来」を見据えている私学に他ならない。そんな力強さを感じました。

座談会に参加した保護者の声です。

「人口減、高齢化などに伴う問題が山積みの、変化が激しいこれからどのような世の中になっていくのかわからない状況にあって、子どもたちにかかる負担はますます大きくなっていくと思います。生きる力、自分で考える力、さまざまな価値観を理解し、協働できる力をつけることが大事だとしみじみ感じました」

先生方の教育への想いを知ることで、未来の大人たち(=今の子どもたち)と共に歩んでいる私たち大人も、子どもたち一人ひとりの人格、個人の考えや想いを尊重することの大切さについて、強く感じることでできる時間でした。

当日の座談会記事は、9月下旬に毎日新聞本誌、毎日小学生新聞にも掲載される予定です。

ぜひ次月実施の、第25回公開座談会にもご参加ください。

第25回 公開座談会 日時：10月8日(日) 14:00~16:15

対象 小学1~6年生の保護者

主催 毎日新聞社

協賛 日能研

後援 日本私立中学高等学校連合会

桜美林大学総合研究機構「教育未来研究プロジェクト」

【参加校ご登壇の先生】

- ・灘中学校・高等学校 校長 和田 孫博 先生
- ・雙葉中学校・高等学校 校長 和田 紀代子 先生

会場：日本大学 経済学部 本館



MAP

JR 総武・中央線「水道橋駅」
徒歩3分
都営三田線「水道橋駅」
徒歩3分

<本件に関するお問合せ先>

日能研本部 TEL: 045-473-2311 / FAX: 045-475-0544 / e-mail: pr@nichinoken.co.jp

